

製品名: カドヘリン 22 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07831**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	84kDa

抗原情報

遺伝子名	CDH22
別名	CDH22; C20orf25; Cadherin-22; Pituitary and brain cadherin; PB-cadherin
遺伝子 ID	64405.0
SwissProt ID	Q9UJ99
免疫原	抗血清はヒト CDH22 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 111-160

背景

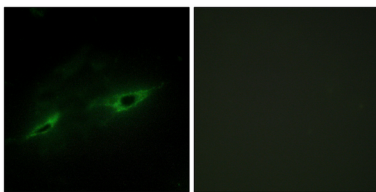
この遺伝子はカドヘリンスーパーファミリーのメンバーです。遺伝子産物は、5つのカドヘリン反復ドメインと、古典的カドヘリンの高度に保存された細胞質領域に類似した細胞質テールから構成されています。主に脳で発現するこの推定カルシウム依存性細胞接着

タンパク質は、脳および神経内分泌器官の発達と維持において、神経細胞および非神経細胞の形態形成と組織形成に重要な役割を果たす可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: カドヘリンはカルシウム依存性細胞接着タンパク質です。細胞同士を接着する際に、カドヘリンは互いに同種親和的に相互作用するため、異種細胞の選別に寄与している可能性があります。PB カドヘリンは、下垂体および脳組織の形態学的組織化に関与している可能性があります。類似性: 5つのカドヘリンドメインを含みます。、

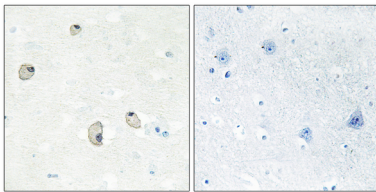
研究分野

アドヘレンス・ジャンクション

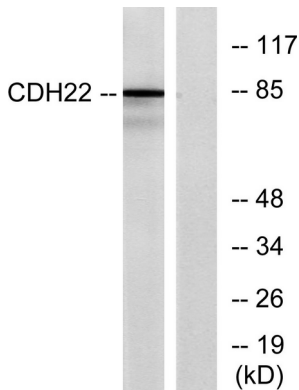
画像データ



CDH22 抗体を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CDH22 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CDH22 抗体を用いたラット脳細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。